

## 4 施策の取組・成果の概要

### 施策名 101 港湾サービスの提供と利便性向上

#### 施策の目的

港湾ユーザーに提供される様々な港湾サービスがユーザーのニーズに応じ適切に提供されるとともに、より利便性が高く優位性のあるものとなっている という状態にします。

#### 施策の数値目標と達成状況

港湾サービスの提供にかかる ユーザーの満足度	2009年度 実績値	72%	達成 状況	B
	2010年度 目標値	92%		
	2010年度 実績値	83%		

達成状況の説明：目標が達成できなかったが、前年度より改善した

【目標項目の説明】

- ・港運企業や船社などの港湾ユーザーへのアンケート調査で、四日市港の港湾サービスの提供について「満足」または「やや満足」と回答したユーザーの割合。

#### 2010年度における取組と成果等

- 港湾ユーザーが荷主企業に対して安価で良質な物流サービスの提供ができるよう支援を行いました。港運企業に対しては、港湾荷役作業の効率的実施のためのニーズに応じた荷さばき地の提供とともに、企業間の利用調整を行いました。船社に対しては、ニーズに応じた船席指定及びひき船配船等の船舶の入出港支援サービスに努めました。これら海陸にわたる支援活動により、港湾活動が安全・効率的に行われました。
- 霞ヶ浦北ふ頭 W80 号コンテナターミナルの整備完了（2010年4月から全面供用開始）に伴い、コンテナ取扱能力が大幅に向上しました。また、ターミナルゲートオープン時間の延長（モデル事業）によりコンテナターミナルの利便性が向上しています。
- 荷主企業に対する一層の利便性の向上を図るため、船社訪問などの航路誘致活動を行いました。2010年度は、年度当初にベトナム・インドネシア等航路が新たに寄港するとともに、既存航路についても寄港地がベトナム、マレーシアまで延航されるなど航路サービスが拡充され、一層安定したサービスが提供されています。
- これらの港湾サービスの提供や利便性の向上に取り組んできましたが、残念ながら

ら、ユーザーの満足度については、目標を達成することができませんでした。

#### これからの課題等

- 港湾業務の効率化を一層推進するため、ユーザーのニーズに応じたきめ細かなサービスを提供することが求められます。
- モーダルシフトなど荷主企業の物流におけるCO<sub>2</sub>削減の取組に対応できる港湾サービスが求められるようになっていきます。
- 優位性、利便性を一層高め、港として更なる競争力を付けていくためには、港湾コストの縮減を進めるとともに、荷主企業のニーズに適切に対応しながら、航路の維持、充実に引き続き取り組む必要があります。

#### 2011年度（以降）における取組

- 港湾ユーザーの荷役作業や船舶の活動等が安全かつ効率的に行われるよう、引き続き、荷さばき施設の運用や、船席指定、ひき船配船等の各種支援をニーズに応じ適切に提供します。【戦略計画 事業 10102 へ】
- 荷主企業等の生産・出荷体制の効率化や陸上運送事業者の配車効率向上に関するニーズに対応するため、四日市港コンテナターミナルにおけるゲートオープン時間拡大モデル事業が引き続き実施されるよう、国に働きかけていきます。【戦略計画 事業 10102 へ】
- 荷主企業等が取り組む環境負荷の削減に向けたモーダルシフト等の取組に対して、的確に 대응することができるよう、港湾施設の運営を行います。【戦略計画 事業 10102 へ】
- 航路の維持安定には集荷拡大が不可欠であることから、港運企業や船社とも連携しながら、取扱量増大に取り組めます。また、航路誘致補助制度を活用し、荷主企業からニーズの高い、北米航路及び中国（華北・華中）航路の戦略的な誘致に努めます。【戦略計画 事業 10101 へ】